

# 飯南

いいなん

第30号

平成24年7月20日

飯南町議会 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867



牛の歩みも、人の歩みも千里。〈秋の全国和牛能力共進会出場を目指して／中山間地域研究センター〉

## 平成24年6月定例会終わる

- 平成24年度 一般会計補正予算 ..... 01~02
- 全員協議会議題・議会活動報告 ..... 02
- 一般質問に6人が登壇 ..... 03~08
- 常任委員会報告 ..... 09
- 議会運営委員会報告・採決の結果 ..... 10
- 常任委員会研修報告 ..... 11~12
- 明日を拓く(町の産業を担う人々) ..... 13



## 平成24年 6月定例会終わる

6月定例会は、6月5日から6月15日までの11日間の日程で開きました。

総務厚生常任委員会は、高齢者世帯等に対する除雪支援の在り方と、地域交通や広域交通への対応について熱のこもった議論を行いました。

教育経済常任委員会は、加藤博樹雲南農業振興協議会畜産アドバイザーと、立石幸飯石森林組合長を招致し、JA雲南が廃止としている、頓原・赤来両肥育センターの今後の計画と、菌床しいたけ生産施設の経営状態について聴取しました。

肥育センターは第三セクター方式での運用を断念し、再度JA雲南へお願いする案が示され、しいたけ施設は経費効率のよい新しい施設に集約し、旧来の施設を休止することで収支を改善する計画であると説明を受けました。

この二事業は、方向を誤れば多額の税金を投入することになる恐れがあり、今後も注視していきます。

また町長は、新庁舎建設について明確に意思表示し、(株)サプロ島根の債務不履行問題については方針を示しませんでした。



上赤名で行われた歴史散歩

飯南町一般会計及び飯南町下水道事業特別会計繰越明許費の報告など2件



### 議会全員協議会の議題

〈5月22日(火)〉

- ①飯南町地域福祉計画について
- ②(株)サプロ島根問題について
- ③放射性物質に汚染された堆肥について
- ④緑化推進功労者内閣総理大臣表彰について(平成24年受賞森林セラピー事業)
- ⑤誘致企業について(株)エリーゼ
- ⑥地域食材提供施設(加田の湯)の竣工について
- ⑦新庁舎建設について
- ⑧志津見ダム水源地域ビジョンについて

〈6月14日(木)〉

- ①飯南町障がい者福祉計画について
- ②「志津見ダムのあゆみ」について
- ③飯南町森林整備計画について
- ④放射性セシウムに汚染された堆肥の処理について
- ⑤アンテナショップ推進事業進捗状況について
- ⑥(株)エリーゼの社員採用計画について
- ⑦新庁舎建設について
- ⑧(株)サプロ島根の工場設備について

### 陳情

「町道栗屋谷線の改良を求める陳情」(陳情者) 飯南町上赤名395番地7 上赤名自治振興協議会 仁井康富

(審査委員会) 教育経済常任委員会 (審査結果) 採択

## 議会活動報告(4月~6月)

### 4月

- 9日 議会広報編集委員会：委員会報告、紙面校正作業
- 12日 教育経済常任委員会視察研修(鳥取県米子市、岡山県津山市)
- 16日 議会運営委員会
- 17日 総務厚生常任委員会

### 5月

- 8日 教育経済常任委員会(学校訪問)
- 15日 総務厚生常任委員会(保育所訪問)
- 24日 議会運営委員会
- 31日 雲南地域議会議長連絡会議員研修会(奥出雲町)

### 6月

- 1日 議会運営委員会：6月定例会の提出議案、日程外の協議
- 5日 **6月定例会**：本会議、町長行政報告、提出議案の説明、質疑
- 8日 本会議、一般質問
- 11日 委員会審査
- 12日 委員会審査
- 13日 委員会審査
- 14日 委員会審査・全員協議会
- 15日 **6月定例会**：本会議、討論、採決
- 18日 議会広報編集委員会：一般質問要約作業
- 20~22日 総務厚生常任委員会視察研修(宮城県遠田郡涌谷町)
- 25日 議会庁舎問題検討協議会
- 26日 雲南広域連合議会臨時会
- 26日 議会広報編集委員会：委員会報告、紙面校正作業



衣掛山での歴史教室

源流調査

## 平成24年度 一般会計補正予算は 1億2,134万円増額

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	1億2,134万円	67億4,607万円
国民健康保険事業	169万円	8億2,434万円
介護保険サービス事業	△58万円	3,330万円
簡易水道事業	158万円	2億1,672万円
下水道事業	△15万円	4億2,744万円
住宅新築資金等貸付事業	759万円	876万円
病院事業会計	530万円	10億5,624万円

特別会計

## A 新庁舎なぜ赤名か 検討の余地はない



永井 章議員

町長は庁舎位置を赤名としたが、本来、合併協定書が新町の指針であり、協定書にあるとおり、利便性など住民の合意が得られる位置でなければならぬが、なぜ赤名なのか。

また、本庁舎建設以外の、サポロ問題やセシウム汚染堆肥などの解決が優先されるべきだが、庁舎建設基本計画の策定が大幅に遅れたのはなぜか。また、特別多数議決である庁舎位置変更議案は、8月20日までに議会へ提出するのかを問う。



山崎英樹町長

本庁舎建設については合併以来の大きな課題だ。

## 町政を問う 一般質問

6月定例会

## A 老人クラブ存続を 話を聞き手伝う



門 眞一郎議員

飯南町老人クラブ連合会赤来支部は、社会貢献をはじめ、引きこもり対策や生きがいづくりの実施に活動してきたが、役員や事務局を担う人がいなくなり解散の危機に直面した。この現状をどう

捉えているか。高齢者福祉の受け皿として重要な組織である老人クラブを、健全な形で存続させることは本町にとって大切だと考えるが、町長の所感は。存続には役員の負担を軽減する必要があるが、支援の考えはないか。

山崎英樹町長

赤来支部の加入クラブ数は減少したものの、今回存続される事になり、うれしく思っている。歴代の役員、会員の皆さんの御苦労に感謝するとともに、存続に御腐心いただいた皆さんに心より敬意を表する。

老人クラブの活動はまちづくりそのものであり、取り巻く環境は難しい状況にあるが、本町になくてはならない。負担があるとするれば、会員の皆さんの話を聞きながらお手伝いしていく。



現在の赤名庁舎

建設検討委員会で約1年にわたって検討していたが、町内4か所の候補地から意見集約され、関係法令、評価、まちづくりの視点、地域バランスなどに基づいた結果であり、検討の余地はない。

また、本庁舎以外のいろいろな課題については並行して進める。

基本計画策定の遅れは、庁内検討委員会で慎重に検証を行ったためだ。

総合的判断に基づいて赤名に決定したものであり、議案提出は8月を目標としている。

## A Q 肥育センター廃止後の方策は J A・行政一体で

永井議員

J A雲南は6カ所の肥育センターの内、仁多、吉田を残し4カ所を閉鎖したために、雲南農協協賛プロジェクトチームが繁殖と肥育を一体的に運営する方針を出した。運営方式は、公益法人か第3セクター方式が予定されていると聞くが、行政による多額の運営資金が必要となる。民間企業へ公募の方法はどうか。

山崎町長

このプロジェクトチームで、雲南地区の和牛振興策を検討している。現段階では運営形態について決定していない。資金としては、主に買い取り素畜費など初期投資として資本金1億円、運営資金5億5千万円とみている。

山崎町長

市場原理に基づく民間企業の運営については適切でないと考える。島根の和牛を考えると、視点から、J A、行政が一体となり検討している。赤来肥育センターの修繕に関しては、現在検討中だ。

## A Q 買い物弱者サービスはどうなった 里山コミッションに期待

門議員

昨年6月定例会で、買い物弱者向けサービスに関する質問をした。

消費者と商店をつなぐことにより需要と雇用を増加させる仕組みを提案したものだ。また、C A

T Vを利用した買い物支援サービスはお年寄りにとって非常に難しいことについても言及した。この1年間、町長はどういうシステムを練ったのか問う。

山崎町長

生活支援など中間支援サービスを担うNPO法人里山コミッションが本年4月に立ち上がった。立ち上げに時間を費やし、課題の検討にはいたっていない。

生活支援サービスネット会議を、商工会や社協などで立ち上げ、買い物サービスに関する調査を行いながら、提供する側、受ける側、窓口機能を受け持つ組織のいずれもが負担に感じない持続可能なシステムを構築していく。

町民の雇用の場をつくる仕組みというのは、大切なことだと思っている。里山コミッションでも考えていきたい。C A T Vを利用した方法も、情報化を推進する検討会議において並行して検討を進めたい。



雲南市吉田町で行われた全共予備審査

# 国保が後退したが A 血が通った対応している



伊藤好晴議員

①国保の財政難と国保料金引き上げを招いているのは、国の予算削減にある。  
政府の失政で、国保の医療保障を後退させたが、この事態をどう思うか。  
②国保法改定案による広域化は、各自治体が独自に考える国保への財政措置を阻害すると思うが、町長の考えは。  
③国保保険料は、支払うことが出来る応能負担を基本とする財政運営を貫くべきだ。

山崎英樹町長  
①国保の加入者の多くは、高齢者、低所得者、最近では非正規就労者であり、財政運営は構造的課題を抱えているが、本町は血の通った対応をしている。  
②国保法改正による広域化については、「島根県市町村国保広域化等連携会議作業部会」で検討するが、本町も構成員であり、必要な人に手を差し伸べる制度を基本に考えている。  
③保険料の応能割を基本にすべきと考えているが、本町に公平な制度でなければならぬ。



伊藤議員  
5月22日の全協で、庁舎建設位置はCATV飯南局周辺の町有地と説明があった。  
町民へは、7月に4カ所で開催を催し説明をする予定だというが、早急に結論を求めず、住民の議論を巻き起こすことが今求められているが。



CATV飯南局周辺の町有地

## Q 庁舎建設は住民の意見を A 理解と納得の上で進める

伊藤議員

山崎町長  
住民の理解と納得の上で進める事は大切だ。座談会で皆さんと真摯に意見交換を行いたい。  
議会でも庁舎建設にあたり、いろいろな整理をして頂き、適切な住民の声を反映できるように是非協力を賜りたい。

山崎町長

山崎町長  
飯南病院では、医科と歯科の連携が十分にとれる体制になっているが、連携はさらに進める。



## Q 医科歯科連携診療を A 連携はさらに進める

伊藤議員

医科歯科の連携診療は、生活習慣病などの克服に有用だと感じている。  
飯南病院には医科と歯科があり、町内に開業医も1人ずついる。医科歯科の連携が出来れば、大きな効果が期待できると思うが、取り組み考えは。

山崎町長

山崎町長  
歯科保健連絡会を定期的に開催し、歯科保健事業や歯科医療に対し協議を行っている。

# 町政を問う 一般質問 6月定例会



さつき会館  
・志々支所  
・志々公民館

# 本庁舎より地域づくりを A 必要なことはやる



長島正一議員

①町長は新庁舎建設の意向を示した。計画の身、および本庁舎方式にした場合の支所機能と地域づくりの方策は。  
②赤名は県庁から遠く、地理的に本町の中心とはいえない。旧両町の融和、一体感の醸成に逆行しているとの声もあるが。  
③庁舎建設より産業振興による所得確保を、あるいは、将来的には中学校の統合も考えられるので、空いた中学校を庁舎にしてはとの声があるが。

支所機能は、地域振興拠点としての機能充実と施設整備を図る。また、特色あるまちづくりのために4つのゾーンを重視して進める。  
②新庁舎建設検討委員会で優位性を判断され、赤名という報告を受け、庁内検討委員会で適当であるとの結論に至った。  
③住民の生活は町政の最重要課題であり、新庁舎建設によって滞ってはならない。財源的懸念はわかるが必要なことはやる。教育委員会から、中学校の統合についてはないと聞いている。

## Q 定住対策について A きめ細かな対策で推進

長島議員

本町は定住対策に取り組んでいるものの、担い手不足が深刻化し、高齢化が進んでいる。この状況をどう認識し、対策をどう考えているのか。  
また「人・農地プラン」について町の考えを聞きたい。  
田舎回帰志向の定年退職者も定住支援すべきではないか。

山崎町長

山崎町長  
定住相談件数は612件で、平成22年度以降、年120件と増加傾向にあったが、直近の農業志向での相談は減少している。



山崎町長

農業研修生の就農支援には、研修先・農地・住宅の確保が課題だ。就農計画の作成などアフターフォローの充実も重要なため、相談員の増員を準備している。  
「人・農地プラン」の策定は、集落の知恵と力量が問われるが、町も各種施策と連携させて推進する。

また、これまで若者の定住を中心に進めてきたが、指摘の観点も重要なので、きめ細かな対策にするため、定住推進計画の見直し作業を進める。

※人・農地プラン…農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など地域課題を解決するための「未来の設計図」。



# 高速バスの存続は

**A**可能性は非常に厳しい

安部誠也議員  
「飯南の危機」という報道によると、尾道松江線開通に合わせ、来年度から路線バス3社が国道54号を運行しない方針を固めた。町の説明がまったくないので町民の不安が高まっているが、交通手段の確保は大丈夫か。行政報告で「継続は費用対効果から厳しい」とのことだが、その真意は。

山崎英樹町長

松江出雲・広島間を国道54号で結ぶことは困難な状況にあり、町が乗り継ぎを考えるしかない。広島方面へは備北交通を軸に、三次までの便を協議検討している。松江、出雲方面へは、高速道の吉田バス停への接続を町営で検討している。町民はもちろん、来町者の交通手段も確保しなくてはならない。

# 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合に加入は

**A**考えていない

安部議員

先日、「緑の分権改革」あるものを生かす地域力創造」の著者である椎川自治財政局長が来町され講演いただいた。椎川氏が強調する公務員参加型地域おこしが必要だと考えるが。

また、地域に飛び出す公務員を応援する首長連合に加入する考えは。昨年度、緑の分権改革推進事業としてEV車を導入したが、町民の利用状況は。

今年度、小水力発電導入促進モデル事業が新規事業として盛り込まれたが、関係機関とどのように取り組むのか。

山崎町長

公務員参加型の地域おこしは、職員も一町民として事務局的な役割を担うよう努力している。職員の地区担当制は形骸化しており、地域と一体となった活動ができるよう



導入されたEV車

な形にしていく。公務員を応援する首長連合への加入は考えていない。EV車は来町者や町民に貸し出す考えだったが、法的課題があり時間を要している。

今年度は小水力発電の調査を行う。候補地の選定など、調査し、緑の分権に関する研究会などと協議する。

# NHKラジオ中継局を

**A**TV中継所で

安部議員

昨年12月、NHKラジオ放送の受信環境整備についての一般質問に、町長は「新たに飯南町情報化を推進する検討会議を設け、研究、検討する」と答弁した。

中波だけでなく町民が安心して暮らせるために、夜でも快適に受信できるように、まずは比較的周波数が余っているFMの中継局を町内に新設すべきだ。

山崎町長

FM放送であれば、頼原・来島・赤名のTV中継所を使用できる。その場合、費用負担は発生するが、前回からの課題であり、今後、検討会議で研究していただく。

# 一般質問

町政を問う

6月定例会

# お人よし行政に終止符を

**A**本質を見きわめながら



人よし行政」に終止符を打ち、町政を仕切り直すべきだ。

山崎英樹町長

私はその時々、あるいはまたその案件案件で、必要な措置を取りながら対応し行動して来た。指摘は真摯に受けとめ、本質を見きわめながら物事に当たっていく。

# 飯南ブランドで一点突破を

**A**少しずつだが前進している

石原議員

私は「最大の福祉政策は産業振興にある」という観点に立ち、産業発展のチャンスメーカーを自覚し議員活動を展開してきた。

その結果、本町は飯南ブランドで十分に勝負できるという結論に至っているが、現実には、例えば本町産牛肉のブランドは奥出雲和牛だ。



町の戦略として、飯南ブランドで一点突破すべきだが何故できないのか。

山崎町長

本町を丸ごと飯南ブランドとし、産業を振興しまちづくりを進め、町外へアピールしながら活性化を図っており、少しづつだが前進していると思う。

# 庁舎建設は町長選挙で審判を

**A**今の任期中に道筋をつける

石原議員

私は主に次の理由で庁舎建設に反対している。

- 1、町民の富を直接に生まない庁舎建設より、町内経済を直接潤す産業振興や公共事業に力を尽くすべきだ。
- 2、庁舎という物より、職員のやる気という心で、まちづくりに向かうのが本筋。
- 3、遊休施設や既存施設の廃止・改修・建てかえなどを無視して新庁舎を建設するのは言語道断だ。

町長がなんととしても庁舎建設したいなら、町政座談会で説明を行うのではなく、町長選挙で信任を得るべきだ。

町長が今定例会最終日に辞表を出すと、50日以内に選挙となるが、山崎町長が立候補し再選される。

れば、堂々と新庁舎建設に向かうことができる。飯南町の将来に禍根を残すことになりかねない庁舎建設は、選挙によって新たなリーダーにゆだねるべきだ。

山崎町長

町長選挙で庁舎建設を問うという手法はあると思うが、合併協議会の会長だった責任上、今の任期中に私の手で道筋をつけたいと昨年度から提案している。

庁舎として使える適当な既存物件はなく、合併特例債の期限を考えると本年度に決定し準備を進める必要がある。

今回見送ると、この先庁舎建設はないと思うので、どうしても新たに建設したい。

●この外に、石原議員から副町長に対し次の質問がありました。  
◆山崎町長の一番の理解者として綱紀粛正に努めていたなら今日のような課題山積に至ってはいなかったとして、また、就任に当たっての抱負を振り返っての感想とともに、飯南町のまちづくりに精励する覚悟を質した。



飯南ブランドを示すサイン

正規な議会活動となった全員協議会

これまで法的根拠がなかった飯南町議会全員協議会だが、法律上の正規な議会活動として位置づけるため、今定例会において「飯南町議会会議規則の一部を改正する規則」を議員発議し、全会一致の賛成をもって制度化した。

これにより全員協議会は常任委員会同様に公開し、会議の概要、出席議員の氏名など必要な事項を記載し、協議内容や調整の経過について住民が知り得るよう記録を作成することになった。

9月定例会までに議員定数改正の方向

議員定数については任期を1年余り残す中、次期選挙に立候補予定の新人や現職など、また後進に道を譲る現職のためにも早めに決定すべきとの意見が多く、「飯南町議会議員の定数を定める条例」の改正を、9月定例会までに取りまとめることにしている。



6月定例会における採決の結果

件名	結果	安部 朋次	小野 覚	難波 俊司	瀧尻 行雄	伊藤 好晴	永井 章	長島 正一	門 眞一郎	安部 誠也	石原 敏郎	熊合 兼樹
財団法人飯南町農業公社の経営状況の報告	—											
飯南町一般会計及び飯南町下水道事業特別会計繰越明許費の報告	—											
専決処分の承認 飯南町税条例の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 平成23年度飯南町一般会計補正予算(第10号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 平成23年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 平成23年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 平成23年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 平成23年度飯南町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 平成24年度飯南町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	承認	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成24年度杉戸第2団地建設工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町地域食材提供施設の設置及び管理に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町印鑑条例の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町福祉医療費助成条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町消防団の設置等に関する条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度飯南町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度飯南町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度飯南町病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町地域食材提供施設)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

陳情の採決結果

陳情第3号 町道栗屋谷線の改良を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-----------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6月定例会における議員提出議案採決の結果

発議第2号 飯南町議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※採決にあたり討論があった議案

○賛成議員 ●反対議員

討論

【反対討論】  
伊藤好晴 議員  
承認第8号  
専決処分の承認  
平成24年度飯南町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)

これは、平成23年度において貸付金償還4件が滞ったことにより歳入不足が生じ、平成24年度予算から759万円余を繰り上げ充用するものだ。  
これまでの滞納累計は5名の8件で3千240万円余のことだが、町民の財産が失われることにつながり、これほどの予算があれば、町民のためにどれだけ施策ができたかと思うと残念でならない。  
この問題はもとへ置かず、早急に対処されることを求め反対討論とする。



総務厚生常任委員会 委員長 長島 正一

平成23年度 一般会計補正予算(第10号)  
高齢者世帯等住宅緊急除雪補助金 300万円減額

高齢者世帯等へ除雪費用を補助するため予算化されたが、利用申請が無く全額減額された。本来に必要ななかったのか検証が必要だ。

平成24年度は、150万円に減額されて予算化されているが、発動や利用対象者等の基準作りに傾注するだけでなく、地域住民と充分協議し、地域の実態にそった形で進めることを求めた。



業者による雪下ろし作業

平成24年度 一般会計補正予算(第1号)  
地域交通対策費 6万円

高速自動車道尾道松江線の全線開通を間近に控え、松江広島間の路線バスの運行が、54号線を経由しないことが決まった。広域交通の確保対策は、喫緊の課題であり、積極的な議論が求められている。

そのためには、適切な地域交通対策費が必要であり、その推移を見ながら運営に支障をきたさない予算措置をとるように求めた。



自動車道を利用する路線バス

教育経済常任委員会 委員長 門 眞一郎

平成23年度 一般会計補正予算(第10号)

観光農園経常管理費と観光ぼたん園経常管理費 財源変更

いずれも予定していた売り上げ収入を満たすことが出来なかったことにより財源変更した。観光農園、観光ぼたん園の指定管理料の見直しが必要との意見があった。



赤名観光ぼたん園

平成24年度 一般会計補正予算(第1号)

地域貢献型集落営農  
ステップアップ事業 60万円

(尙志都の里が中玉トマトのトロ箱栽培を行い、経営の多角化を目指すもので、IUターン者の受け入れ、女性や高齢者の働き場の確保を目的に、設備整備を行う。

以前、同様の事業が諸般の事情で頓挫した事例があるが検証されていない。事業総括と技術指導など支援を怠らぬよう申し入れた。

古市工業団地関連事業  
1,770万円

(株)エリーゼ島根工場予定地へ、企業誘致条例に基づき、道路、下水、簡水工事を行う。

課を横断した会議である「飯南町企業誘致連絡会議」がもうけられているにもかかわらず、道路の形状など担当課同士の連携が密になっていない。きちんと連携するよう注意した。



尙志都の里のガラスハウス

審査意見

平成23年度 一般会計補正予算(第10号)

今回の観光農園経常管理費と観光ぼたん園経常管理費は売り上げの不足分を財源変更で補うものであるが、売り上げが不足した場合、そのたびに一般財源を投入することになり、指定管理のあり方と整合性がとれなくなる。指定管理の基本に立ち返り、見直すべきだ。以前にも指摘したが、指定管理料は、指定管理を導入している施設すべてについて根本的に見直す必要がある。

# 教育経済 常任委員会

委員長 門 眞一郎

## report

教育経済常任委員会は7月9日から7月12日までの4日間視察研修を行った。

### 大阪府高槻市 大阪府森林組合 三島支店

#### バイオコークスの取り組み

ナニワ炉機研究所、高槻市、近畿大学など産官学の連携により、世界で初めてバイオコークス生産が実用化された。間伐材の有効利用を検討する中で、斬新な手法が試みられたが、CO2と中国に対するコークス依存を低減するメリットがある。

トヨタ自動車のエンジンブロック生産工場で使用しているが、キュボラ（溶鉱炉）に適した燃料として、現在使用料の6%、将来的には20%をこれで賄う計画がある。

飯南町は高槻市の4倍程度の山林があるが、このような施設を有し、たとえばマツダのエンジン部品を生産するキュボラへ燃料として供給すれば、豊かなエネルギー資源を有する町という見方も可能になる。



バイオコークスの説明を受ける



### 石川県羽咋市 神子原地区

地区民で経営する神子原農産物直売所

#### JA行政を頼らず自助努力する地域

限界集落神子原地区を60万円の予算でよみがえらせた、スーパー公務員 高野誠鮮課長補佐に復活の経緯を聞いた。JAと行政に支えられてきたことが地域衰退の元凶と断じ、地区住民に自立を促した。

「交流戦略・ブランド戦略・メディア戦略」を柱に、女子大生と呑みにケーションすることで地域を元気に、米をローマ法王に献上することで一躍セレブ御用達米に、海外メディアを利用した奇抜なPR戦略、12家族34名を移住させ高齢化率を改善するなど、目覚ましい変化をもたらした。

また、無農薬無肥料による自然栽培に取り組み、農産物の世界戦略を目論んでいる。

あまりにも大胆かつ奇抜な発想に驚きを隠せなかった。

JA越前たけふ 富田組合長と羽咋市役所 高野課長補佐の講話は、グローバル化の中で勝ち抜いていくために必要な手段であると感じた、町民の皆さんにも是非聞いていただきたいと思った。

白米千枚田(輪島市)



## 研修報告

# 総務厚生 常任委員会

委員長 長島 正一

### 宮城県 涌谷町

#### 医療福祉センター

平成24年6月21日

本町の国保会計は、加入者一人当たりの医療費が年額40万円余と、高額で推移している。そのような状況でも、保険料は合併時に創設した基金の取崩しや、一般会計からの繰入等によって、被保険者の保険料負担を抑制しているため県平均より2万円弱少ない。

今後の国保会計安定には、医療費の抑制が必要であり、そのためには、生活習慣病対策としての保健指導が重要になる。そこで、保健活動と医療の連携により大きな成果をあげている、宮城県涌谷町(人口1万8千人弱)を視察研修した。



健康推進員の自主的な健康づくり活動

#### 保健活動 健康推進員の存在

健康づくり・病気予防はヘルスケア部門が担当し、プライマリーヘルスケアの実現を目指している。それを担うのが、町内10世帯から20世帯に一人の割合で委嘱されている、316名の健康推進委員であり、各推進委員は、自らの地域の健康問題を把握し、解決を図るため健康教室等の企画から運営まで手がけている。

その活動を支援するのが、健康推進班(保健師・管理栄養士・歯科衛生士・ヘルストレーナー・事務職員)である。

#### 医療の目指すもの 予防・治療・在宅ケアをむすぶ

生活習慣病などの患者には、適切な治療と同時に予防法の学習が必要で看護部に保健師を配置している。

退院後のケアが必要な患者には、療養型病床を設置しスムーズな在宅生活移行への環境を整え、地域包括支援センターや訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所などと連携をとり在宅ケアにあたる。

そのため、施設を「健康と福祉の丘」と称し、医療福祉センター・在宅介護支援センター・健康管理センター等を集成的に建設し、意思疎通が容易にはかれる環境を築いている。

また、歯科医による口腔ケアは、口から始まる健康意識として、特に、高齢者や障害者にとって重要性をましており、連携が大きな成果を上げている。



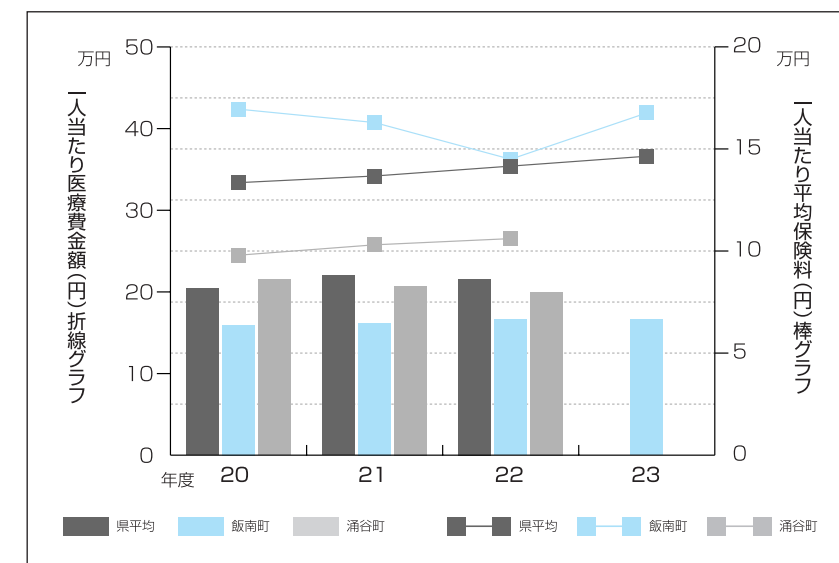
青沼孝徳センター長の状況説明

#### 20年度～23年度までの医療費と保険料の動き(1人当たり)

年度	20	21	22	23
県平均医療費(一般+退職)	333,796	341,948	354,058	366,160
飯南町	423,822	407,420	362,478	419,146
涌谷町	244,965	257,678	265,288	
※ 県での高順位	2	2	11	4

	20	21	22	23
県平均保険料	81,489	81,875	86,224	
飯南町	63,789	64,774	66,598	66,373
涌谷町	86,028	82,858	79,852	
※ 県平均との差	-17,700	-17,101	-19,626	

保険料は調定額(H20以降は介護納付金・後期高齢者支援金を含む)  
※島根県と飯南町の比較



### 福井県 越前たけふ市

JA越前たけふ

#### 先見のコメ政策

JA越前たけふ(富田隆組合長)は組合員数1万人貯蓄1千億円のJAだ。水田面積は福井県の10%、特別栽培米は40%を生産するが、全量直販している。経済事業のすべてを(株)こめたけふに集約し全農との関係整理を予定しているが、農家と消費者をしっかりと見据えた結果であり大いに共感できる。

コメの品質を向上させるため、食味計、穀粒判定器、マルチ味度メーターにより全量分析し、20区分に分類することで、農家からの買い取り価格アップを図り、顧客の多様なニーズに応えるため、低温ラック式貯蔵庫を2億円かけて導入し有利販売している。

昨年からは、土壌改良剤輸入による資材費の低減、台湾等へコメ輸出によるグローバル化への対策を始めている。

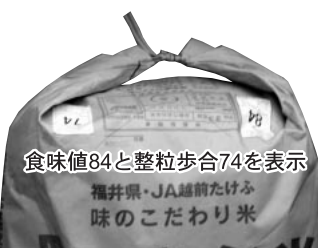
### 石川県輪島市

輪島市役所

#### 世界農業遺産登録を生かす

2011年、能登と佐渡島が先進国で初めて世界農業遺産に認定された。生物多様性が守られた伝統的な農林漁法と土地利用、伝えていくべき伝統的な技術、農耕にまつわる文化・祭礼などが継承されてきたことが理由だ。

今後観光にどう生かしていくか注目される地域だ。



# 全員参加で活力あふれる志都の里

(有志の里)の志都の里は、志津見ダム建設に伴う生活再建対策として、志津見地区に設置された施設などを管理するため、志津見地区の全戸が出資した会社です。「全員参加」「自給自足」「笑顔」にこだわり、うぐいす茶屋・クラインガルテン・ヤマメの養殖を運営するほか、大豆・ソバ・水稲栽培など10事業ほどを行っています。昨年役員交代が行われ、1ターナー者が入社したことで、運営拡充や新分野への取り組みが可能になりました。「持続できる地域づくり」を合言葉に、産業基盤づくりを力を入れる地域運営会社です。



社長の空岡 健さん

空岡社長と社員の高岡晃さん、中川茂芳さんに聞きました。

**問** うぐいす茶屋とクラインガルテンの近況は

**答** うぐいす茶屋では、昨年4月から「手打ちそば」を始めた。通りすがりの人が、本物の手打ちそばを食べて口コミで広がっており、客層が変わってきた。

広島や出雲からのお客さんが増えてきたように思う。基礎を築いてくれたのは女性グループだが、今も手伝ってくれている。手作り豆腐の人氣は根強いが、作る人が限られており量は難しいので、地道にやるしかないと思っている。クラインガルテンの利用者は、畑仕事をしながら田

**問** 志都の里の将来展望について

**答** 高岡君が手打ちそばを始めてから、うぐいす茶屋の運営見込みがたつようになった。少ないけれど賃金が支払えるようになってきている。1ターナー者である高岡君がいなければ今の展開はなかったと思う。

今年からトマトのト口箱栽培を始めるが、これも志津見に住んでいる1ターナー者の中川君が入社してくれたからやれるようになったと思う。



高岡 晃さん



中川 茂芳さん

1ターナーの高岡君や中川君がいたので、手打ちそばが始まり、トマト栽培を始められる。少しずつ新しい産業への取り組みが進んでいる。

**問** 1ターナー青年定着に秘訣があるのか

**答** 志津見地区の先輩たちが、1ターナー者を受け入れる住みよい風土を築いてくれたことが一番だと思う。

また、クラインガルテンがあることで、田植えや稲刈りや秋祭りなどの交流事業がたくさんある。そのため、1ターナー者と一緒にお酒を飲む機会が多い。難しい話をするよりも一晩飲めば仲良くなれる。

**問** 志津見地区を誇りに思うことは

**答** 世代交代がスムーズに行われたことで、他地区から羨ましがられるが、この地区は60代70代の人たちが若いもんを育てる力があると思う。

先輩方が主体から引いても手伝ってくれるので、安心して挑戦できる環境にある。自分たちで考えチャレンジすることで、やりがい生まれることが誇りだ。これまで我々は先輩についていけば良かったが、今は私たちが頑張らないといけない。

**問** 持続できる地域づくりへの抱負を

**答** ダム建設のおかげでさまざまな施設を作ってもらったが、これに甘えず、自力で飯が食え永続できる地域にするためには、基盤となる産業が必要だ。

新しい分野へ取り組み、若い人がこの地域で食えるようにしなければならぬ。この地区で盛んだった畜産なども検討していきたい。

## 表紙の写真



「牛の歩みも千里」という、怠ることなく努力を続ければ成果は上がるという諺がありますが、Gyu牛会の若者たちを中心とした担当のJAや役場職員たちも、日を追うごとに体が理想に近づいている全共候補牛を大切に育てています。中山間地域研究センターで共同飼育されている候補牛は、環境の良さが手伝ってか少々太り気味でしたが最近ピシッと締まってきています。さあ7月の選抜会で島根県代表の栄誉を得て、10月の長崎県での全国和牛能力共進会優勝に向かってモウ一步前進!!

## 編集後記

消費税率引き上げを柱とする社会保障・税一体改革関連法案が、民主、自民、公明3党などの賛成多数で衆院本会議において可決しました。

3年前、民主党の政権公約に消費税の増税はなく、政権を獲得してからは約束を破り、約束していないことを強行する政権与党の責任と自覚を疑いなくなりす。

そんな中、わが町は、来年度の尾道松江線の開通を控え、早急に対策を立てないと陸の孤島になります。

6月議会では6人の議員が一般質問しました。役場新庁舎建設や広島へのアンテナショップ開設、倒産したサプロ島根問題など課題山積。議会の存在意義が問われます。

議員任期も残すところ1年ほどとなりました。議会では、議長から諮問されている議員定数問題や議会活性化についての判断をまとめるため、活発な議論を展開しています。

我々は、予算や条例などに関する議決権行使や町政チェックとともに、3年前の選挙における各自の公約実現にむけて行動し、有権者の期待に応えなければなりません。

議会広報編集委員会

安部 誠也